

# 令和4年度 AIオンデマンド交通(mobi)の実証実験について

---

令和5年3月2日(木)  
豊島区都市整備部都市計画課



## 区交通不便地域の考え方・経緯



豊島区の交通環境は、JR、私鉄、地下鉄、都電の複数の鉄軌道と都営バス、国際興業バス等のバス路線により密なネットワークにより、鉄道駅500m・停留所300mカバー圏に基づく公共交通不便地域は区内の一部地域を除き存在しない。しかし、高齢者や障害者等の交通弱者を考慮した鉄道駅・停留所200mカバー圏に基づく公共交通不便地域は、道路網が脆弱な木造住宅密集地域を中心に広がっている。(次ページ参照)

区では、この公共交通不便地域の公共交通を補完するため、平成19年度からコミュニティバス等の導入について検討してきた。これらの地域は、都市計画道路が未整備であること、狭あいな道路網で構成されていることから、小型バス(ポンチョ)やワンボックスカー(ハイエース等)での運行も困難な地域である。このため、新たなオンデマンド交通の導入も含めた検討が必要であることは、これまでの公共交通会議や豊島区議会などで報告してきたところである。

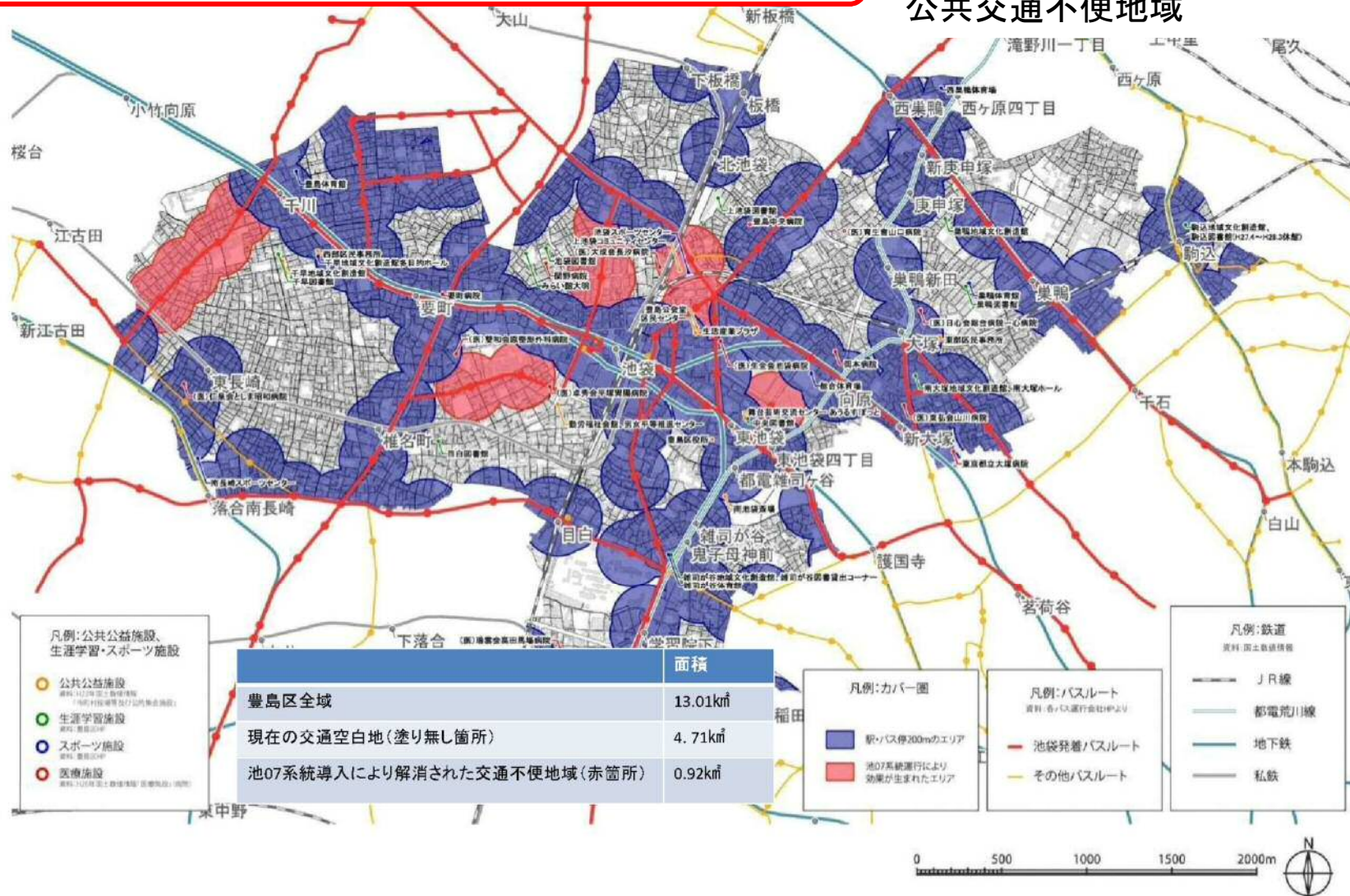


# 豊島区の交通不便地域



**交通弱者等の福祉の視点で見た場合**

鉄道駅・停留所200mカバー圏に基づく  
公共交通不便地域





# 区の公共交通不便地域の課題と解決の視点



健常者にとっては一定以上の交通サービスが提供

しかし

19.9%

高齢者、障がい者、小さな子供を連れた方などの交通弱者  
にとっては、十分な交通サービスが提供されていない！

将来を見据えた交通の再編や強化

## ➤ 交通弱者へのきめ細やかな対応

誰にとってもバリア無く外出・移動が出来る機会の創出

## ➤ 将来都市活動を支える交通サービスの提供

将来都市活動の支援、豊島区の更なる活性化に向けて、拠点間のアクセス向上や円滑な移動など、移動の自由度の高い交通サービスの提供



# AIオンデマンド交通（mobi）の実証実験



## 福祉の視点から見た交通不便地域の解消

交通不便地域の多くは基盤となる地域内道路網が脆弱

コミュニティバス等の乗合バス運行は不可能  
(都市計画道路の整備に併せて検討)

国土交通省は、持続可能な地域公共交通の確保・維持を図るとともに地域の暮らしや移動ニーズに応じた交通サービスの活性化に向けて、AIオンデマンド交通の導入支援等関連する取組を推進

**定額制(対象者・エリア・時間帯限定)オンデマンド交通の検討**

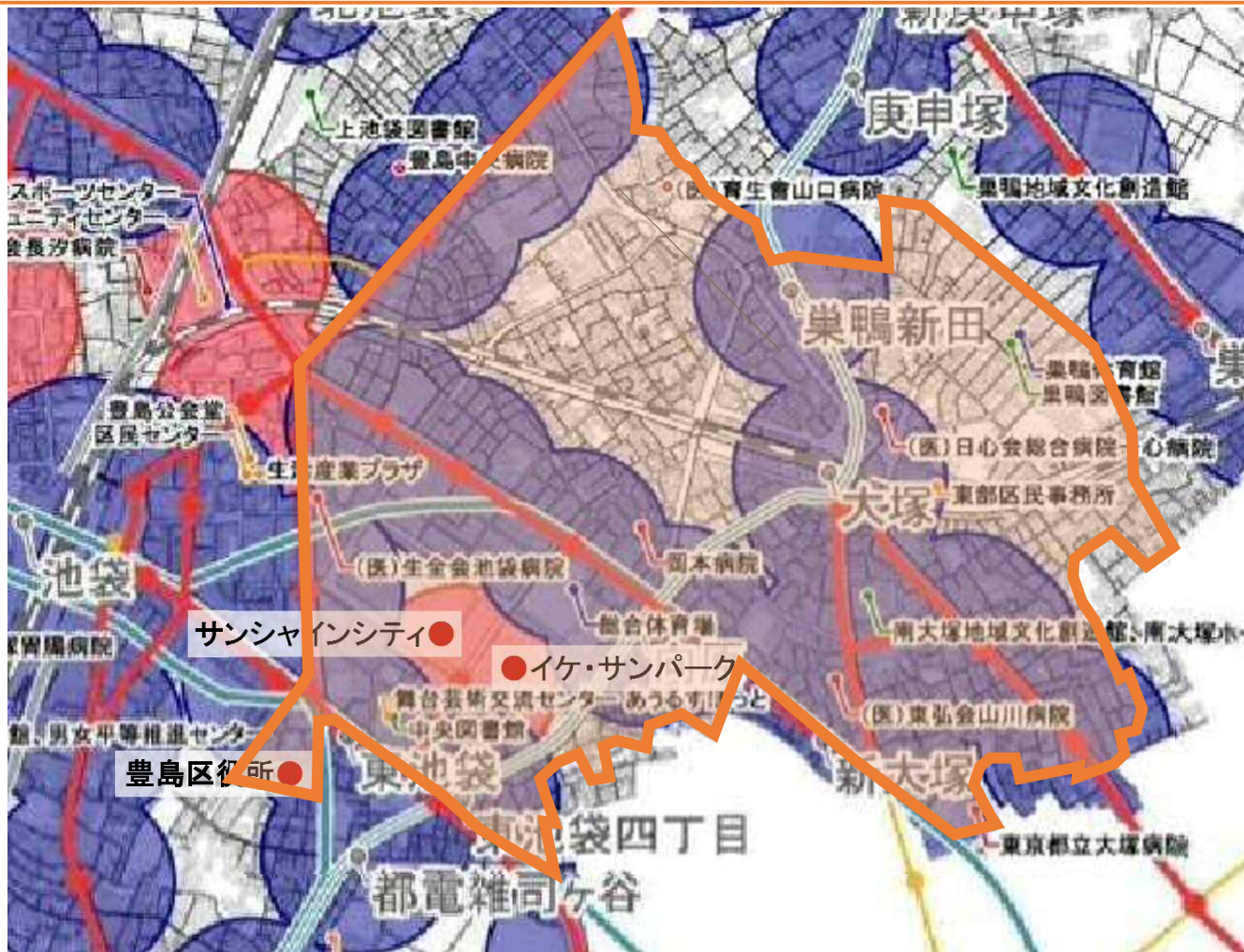




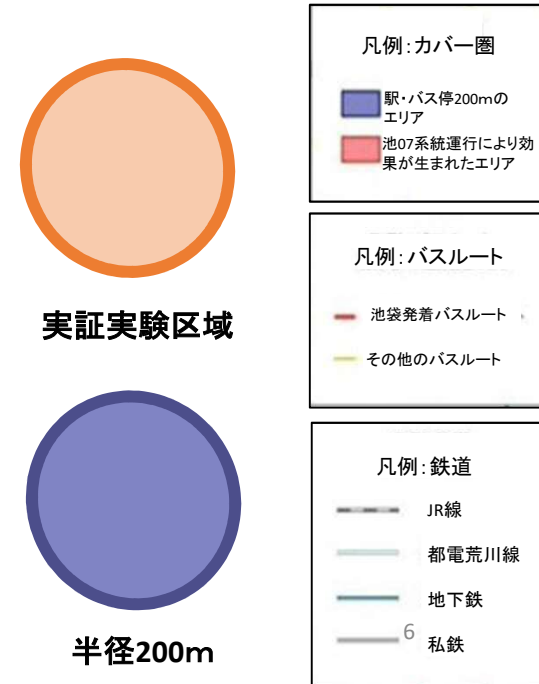
# AIオンデマンド交通 (mobi) の実証実験



公共交通不便地域のひとつである大塚地区でmobiによる定額制  
AIオンデマンド交通の実証実験の提案を受ける(令和3年7月)



大塚駅の北側の地域は狭あい道路により公共交通不便地域となっており、地域住民からもコミュニティバス等運行を望む声が多い地域である。





# 実証実験のこれまでの主な経緯



年月日	概要
令和3年7月29日	WILLER(株)より「豊島区におけるAIオンデマンドモビリティ導入実験実施に意見照会を収受
令和3年7月30日	上記意見照会の回答
令和4年3月28日	第24回豊島区地域公共交通会議でmobiの実証実験について報告 実施主体:CommunityMobility株式会社
令和4年3月30日	21条申請 (株)エコリムジン東京
令和4年4月19日	21条認可 (期間は令和5年4月18日まで)
令和4年4月21日	21条申請に基づく運行(実証実験)開始
令和4年8月24日	第25回豊島区地域公共交通会議で中間報告
令和4年6月20日	都市整備委員会「IKEBUSが導入された経緯と今後の運用について」
令和4年10月19日	第1回豊島区におけるオンデマンド交通に関する勉強会
令和4年11月24日	第4回定例会 一般質問
令和4年11月29日	都市整備委員会「豊島区におけるコミュニティバス等導入に関する陳情」
令和5年1月25日	第2回豊島区におけるオンデマンド交通に関する勉強会
令和5年3月2日	第26回豊島区地域公共交通会議



# 豊島区におけるオンデマンド交通勉強会



## 【会長】

太田 勝敏（豊島区公共交通会議会長）

## 【委員】

一般社団法人東京バス協会 関東バス株式会社 国際興業株式会社  
西武バス株式会社 日立自動車交通株式会社 東京都交通局  
一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会 日興自動車株式会社  
関東運輸局 東京運輸局東京支局 豊島区交通・基盤担当課長

## 【事業提案者・旅客運送事業者】

Community Mobility株式会社

株式会社エコリムジン東京

※事務局は豊島区都市整備部都市計画課地域公共交通グループ

## 【開催日時】

第1回 令和4年10月19日(水) 参加委員:12名 事業提案者4名

第2回 令和5年 1月25日(水) 参加委員:12名 事業提案者4名





## 勉強会での結論



1. 新しい交通として、既存公共交通との共存の可能性はあると考える。
2. 収支について課題が残る。
3. 利用者以外の多くの住民のニーズ等の調査を踏まえた検証も必要。
4. 様々な意見や課題が残るため、4条協議が出来る状況ではない。
5. 「mobi」に限らず、公共交通不便地域での新しい移動手段を検討する必要がある。

## 来年度以降の取り組み

公共交通会議で、豊島区が実施主体となって、これまで行われていたmobiの実証実験をベースとしつつ、見えてきた課題に対する改善を行いながら実施することを提案する。